

いわき市まちづくり・未来づくり講演会



いわき街なかコンサート 現状とこれからの課題



写真提供：福島高専写真部

<https://iwaki-machicon.com>

主催：いわき街なかコンサート実行委員会

ジャンルを問わず様々な音楽を 平中心市街地でライブ演奏！



ロック・POPS

アカペラ (コーラス)

ジャズ

クラシック



フォーク

アコースティック

いわき街なかコンサートとは

ダンス

ストリートダンス



チアリーディング

和太鼓



大道芸

よさこい



いわき街なかコンサートは

音楽とダンス、様々なパフォーマンスを 街なかをステージに展開する文化の祭典！



サンバ



フラメンコ



ハワイアン



じゃんがら
念仏踊り



阿波踊り

いわき街なかコンサートinTAIRA 誕生の経緯

【 2000年頃の時代背景「音楽の観点から」 】

バンドブームでアマチュアミュージックシーンの活動が活発に
(ホールコンサートやライブハウスでの自主ライブが多数実施)



音楽レベルの向上(高校吹奏楽部が全国大会金賞受賞)により
幅広い音楽層の活動が将来的に期待できる状態



平地区は音楽文化の中心地だった
(音楽ホール、ライブハウス、練習スタジオの立地)

いわき街なかコンサートinTAIRA 誕生の経緯

【 2000年頃の時代背景「都市計画の観点から」 】

「いわき駅前再開発」や「文化交流施設整備等事業」により、
街が新しく変化する計画が進行



この機会に街を見つめ直し、平地区の特性を生かした
独自性のある街を目指す



新しい変化「ハコモノ」を将来にわたって必要なモノに
「核となるイベント」の創出が必要性

いわき街なかコンサートinTAIRA 誕生の経緯

【 2000年頃の時代背景「街の観点から」 】

平の中心街が、空洞化が進行して空店舗が目立ち
シャッター通りは人通りが少なく活気が無い



いわきの玄関口として寂しい状態
(1994年12月3日に平駅からいわき駅に改称)



今ある資源生かし、新たな「ハコモノ」を結ぶ
いわきの核にふさわしいイベントの創出

いわき街なかコンサート事業コンセプト

いわきの文化・教育・歴史の中心地である平地区の特性を生かす！



テーマ：文化の薫る魅力あふれる街

平の街なかに賑わいを取り戻す



市民参加型の音楽を中心とした文化交流事業を企画

いわき市民音楽祭・いわき街なかコンサート in TAIRA

【 2003年11月実行委員会結成 】

第1回 2004年9/19(日)20(月・祝)

お天気 19日 ☀️ 時々 ☁️ (21℃/29℃)
20日 ☀️ 時々 ☁️ (20℃/29℃)

- 来場観客延人数 12,000名
- 演奏会場 13ヵ所
- 参加団体 103組
- 参加総人数 記録なし
- バンド数 85組(市内68/市外17)
- 太鼓 8組
- ダンス・よさこい 0組
- パフォーマー 10組

「愛WAVE いわき元気プロジェクト」として始まった市民音楽祭。18日(土)は前夜祭として、市内4ヵ所のバーやライブハウスで演奏が楽しめた他、「ザ・ゴールデンカップス復活コンサート」をBar QUEENで開催しました。初日はオープニングパレードからスタート。街なかがライブ会場になった初めてのイベントに、多くの方が来場しました。共催として世界屋台村、平一町目フェスタ、フリーマーケットなども行われました。



第1回いわき街なかコンサートより (今は会場として使用していない場所)



平和通り天地堂前



2006年天地堂閉店に伴い、
2007年から東邦銀行Pを会場に

いわき駅前ヤンヤンがあった当時



2009年にペDESTリアンデッキが完
成し、いわき駅前会場はタクシー
プール内に移動



第1回いわき街なかコンサートより (今は会場として使用していない場所)



美術館前

↓
音の苦情が多いため中止

いわき市文化センター大
ホール

↓
2009年アリオスオープンに
伴い中劇場を演奏会場に



いわき街なかコンサート実行委員会

■実行委員のメンバーは平青年会議所OBを中心に、趣旨に賛同していただいた有志(主にアマチュアミュージシャン)で構成した約70名

【 組織図 】

【大会役員】

- *名誉会長:いわき市長
- *大会会長:いわき市平商店会連合会長
- *大会副会長(関係する団体の長で8名)

【バンド選考委員会】

【ステージ進行責任者】

※当日の協力者としてバンドを中心に約200名

【実行委員会】

- *実行委員長(1名) 三浦光博氏
- *副委員長(2名) 横山利雄氏、曾我泉美
- *事務局長(1名) 山本新一
- *会計監査(2名)
- *委員(50名)

【事務局】

- *プロデューサー
兼事務局次長(1名)
- *事務局員(1名)

会場の様子

いわきティーワンビル前



坂本紙店前



尼子タクシー・駐車場



ひまわり信用金庫本部前

会場の様子

東邦銀行いわき営業部・駐車場



(2日間)

いわき駅前



(2日間)



club SONIC いわき



(2日間)

まちポレいわきB1

会場の様子

club SONIC いわき



新川東緑地帯

(2日間)



(2日間)

小太郎町公園



(2日間)

イオンいわき店・駐車場

事業提携と協賛事業

協賛事業



事業提携



事業提携



いわきプレミアムフェス、 いってみっぺ 他



事業提携

チャイルド絆交流広場



参加してくれたプロの主なアーティスト



参加してくれたプロの主なアーティスト



PANTA

事業提携: *Sharing 2014 in いわき*

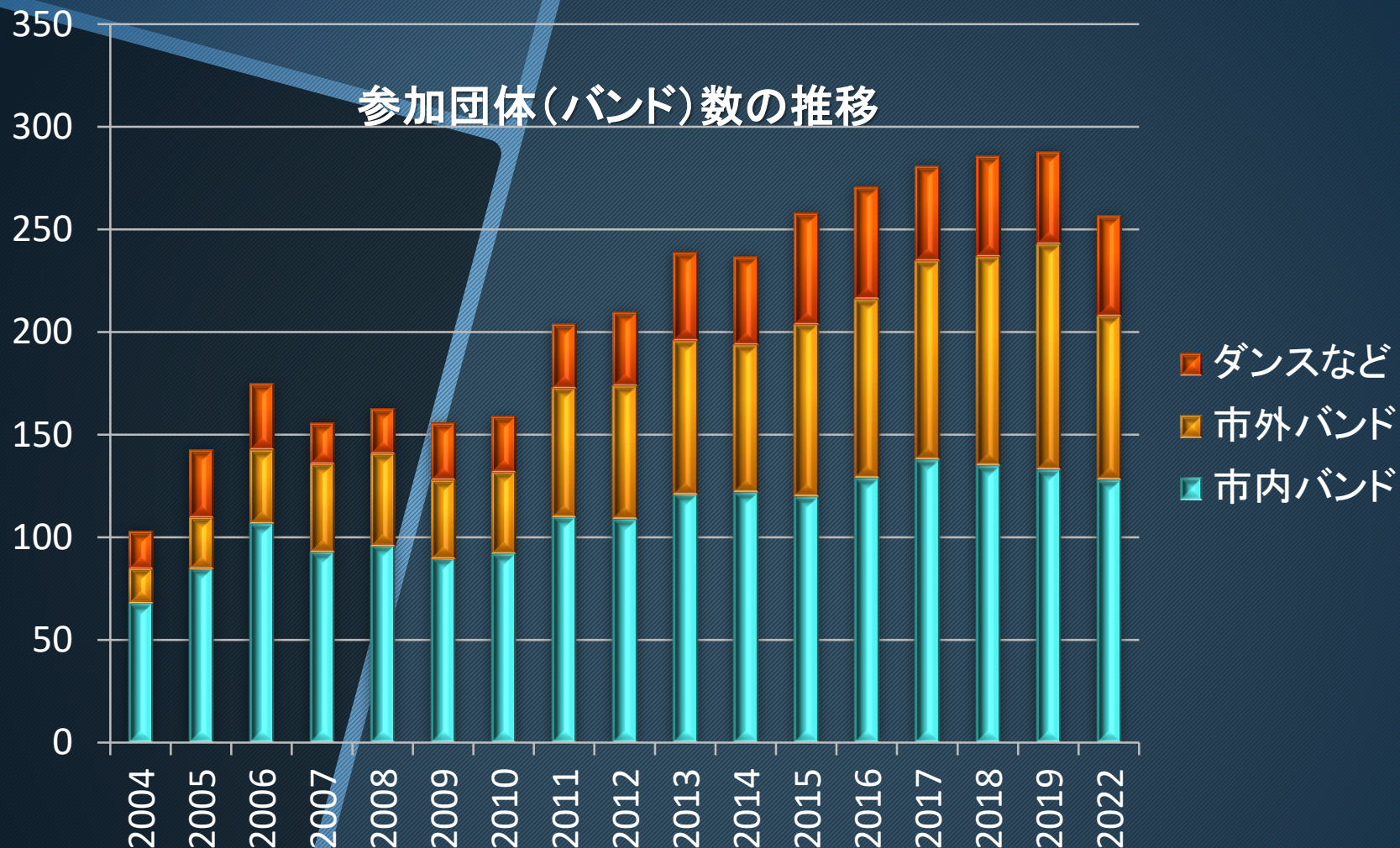


原田真二



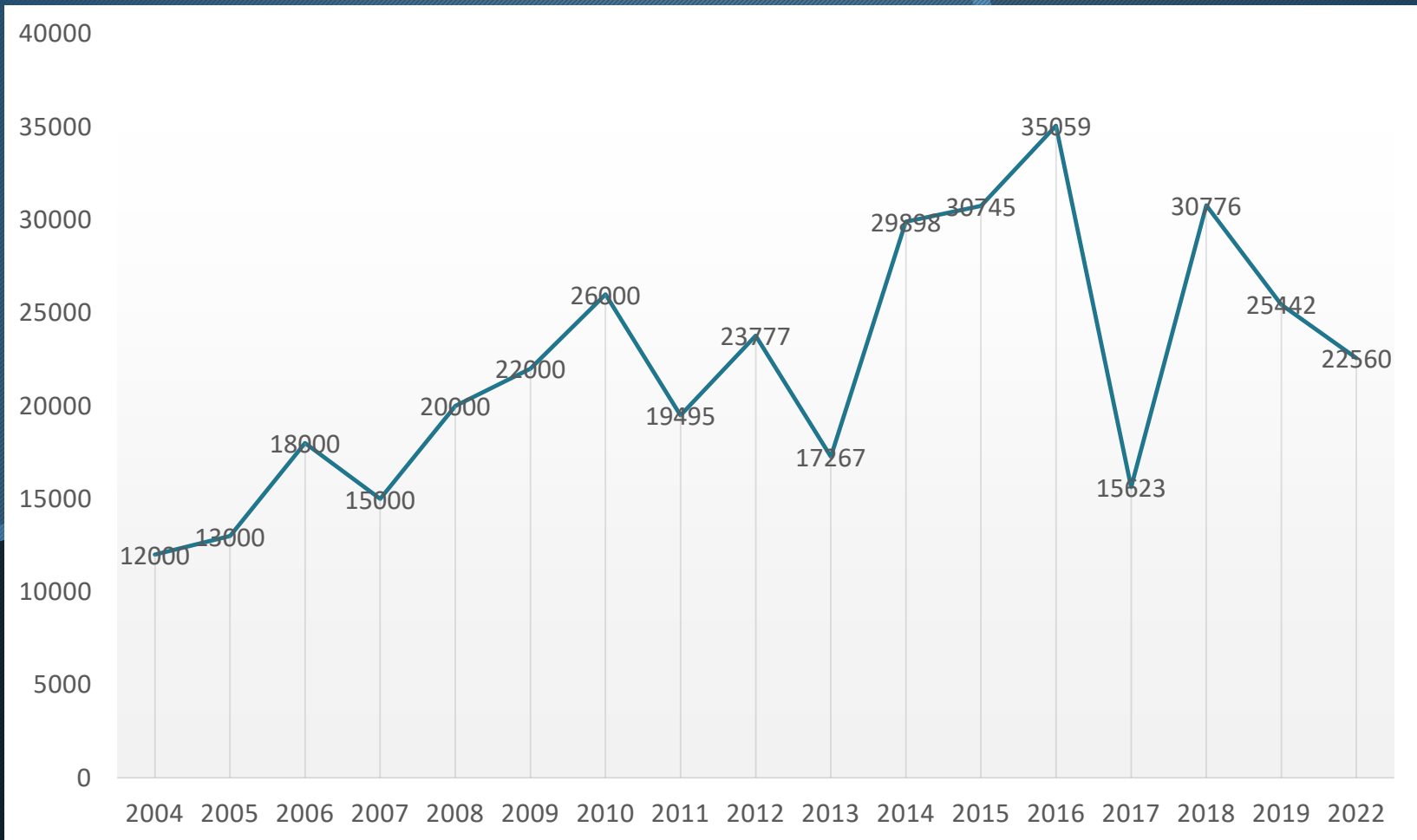
JiLL-Decoy

参加団体(バンド)数の推移



参加者は、主に東京・茨城を中心に関東圏と郡山・福島の県内や岩手・秋田・宮城などで遠い所では静岡や大阪・岡山などからも来ております。
昨年は258団体で参加総人数が1,945名！

来場観客者(延人数)の推移



来場観客者数は参加するバンドにより増減はありますが、屋外会場が多いので雨や寒さなど天気の影響が大きな要因です。

実行委員会の趣旨・目的 及び事業効果推移

■2004年スタート時

「文化の薫る魅力あふれる街づくり」をテーマにした事業の推進により、文化に対する意識の向上と中心市街地の活性化・イメージアップ並びに文化交流の促進を図ること。

■2009年頃から

市民参加による発表の場と新しい文化交流の場を提供し、街を回遊し、新たな施設を結ぶことで、街と音楽が楽しめる環境づくり、次世代を担うミュージシャンが育つ環境を創っていく。

■2011年震災以降

「音楽で故郷に元気再び!」をテーマに音楽の力により市民及びいわきに避難されている方々を元気づけ、心からの復興と中心市街地の賑わいを取り戻す。

■2022年

世界情勢が大変な時だからこそ音楽で世界平和に貢献したい。コロナ禍を乗り越えて文化の灯を取り戻す。

17回継続できている理由

音楽の結びつきで、バンド単位での協力が得られた。
役割分担が明確なため、モチベーションを維持

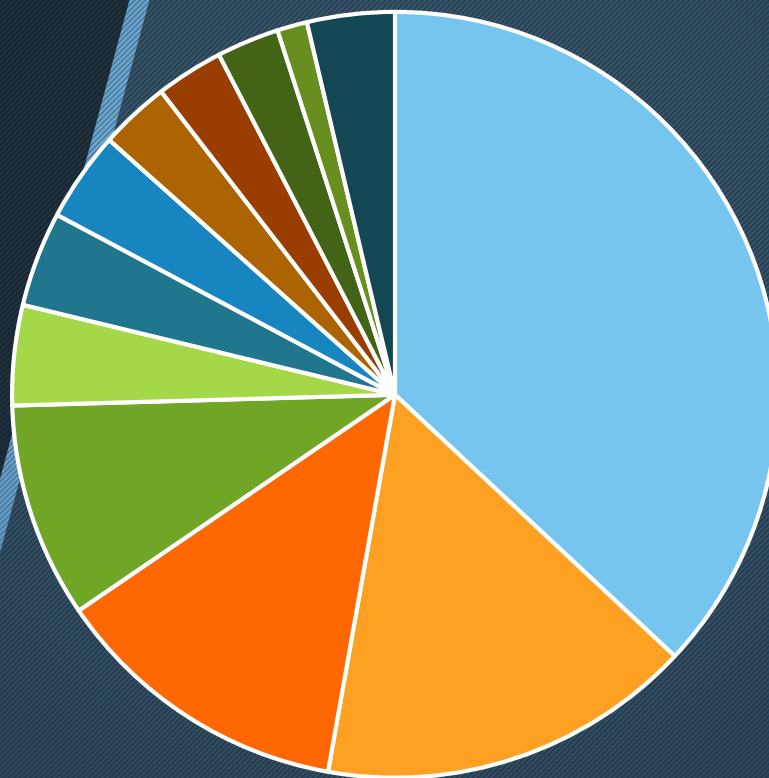
実行委員=参加者であり、音楽を楽しみながら
事業に取り組むことができる。

実行委員長をはじめ実行委員の人脈を生かし、
協賛金依頼をし、目標額をクリアしてきた

事業提携が組みやすい。
今までのつながりや実績などで広がりがあった

経費総額は900～1,000万円

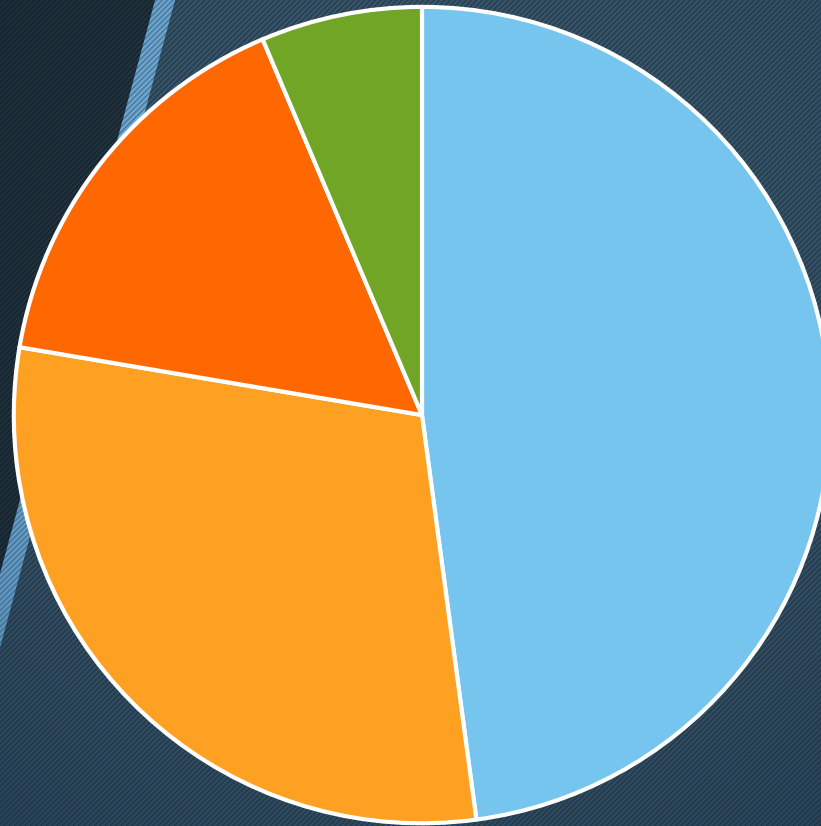
経費関係



- | | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|---------|---------|
| ■ 会場設営 | ■ 音響関係 | ■ 印刷関係 | ■ 警備関係 | ■ 会場使用料 | ■ HP・広告 |
| ■ 報償(人件費) | ■ 郵送料 | ■ 会場看板 | ■ 会場備品 | ■ コピー代 | ■ その他 |

収入の85%は自主財源 (主に協賛金48%、参加料30%)

収入項目



■ 協賛金 ■ 参加料 ■ 補助金 ■ その他

街コンへの評価と課題

評 価

○音楽ばかりでなくダンスや和太鼓も取り入れた文化の祭典というスタイルは全国でも珍しく独自性のある事業として認知された。

○平商店会からは七夕に次ぐ賑わいがあると喜ばれている。

○他県からの参加者が多く、いわきの観光や経済効果にも寄与できている。風評被害払拭や復興支援につながる活動であるとも言える。

課 題

○事業を継続していくためには安定した事業の運営が必要。

①資金面の確保

②担い手となる若い人材の取込み

○行政との協働・連携を深める

①毎回補助金の申請を行うため、収支計画が立てづらい

②シティセールスである「フラシティ」との連携。

③駅前再開発との連携。

今後の発展性

連携事業を増やし、予算面での分散と事業規模の拡大



音楽レベルと事業クオリティを高め、協賛企業を増やす



行政、商店街、駅前再開発、近隣飲食店とのさらなる連携



WEB上でのしくみ作り(可能性の創出)



安定した運営・さらなる賑わいの創出



いわき街なかコンサート

2023年開催日/10月 7(土)・8(日) 予定



<https://iwaki-machicon.com>

写真提供: 福島高専写真部

主催: いわき街なかコンサート実行委員会